



株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION
証券コード 6467

株主通信

Vol. **34**

2019年3月期 中間期
2018.4.1~2018.9.30



INSIGHT & INFORMATION

金属加工技術をコアに、3つの事業で社会に価値を提供しています。

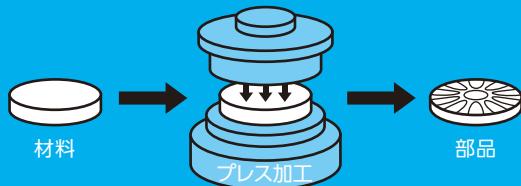
価値創造の流れ

主な製品

ネットシェイプ 事業

高精度な自動車部品を
つくる「金型」を
トータルサポート

一発のプレスで 材料を複雑な形状に加工



高精度

省資源

高強度

金型

金型生産・開発から
部品製造までのト
ータルエンジニアリ
ングを提供



精密鍛造品

金型技術を活かした
付加価値の高い部品
の提供



アッセンブリ 事業

自動車の燃費向上・
排ガス削減に役立つ
キーパーツを組立て

多くのパーツを組み合わせて 部品を組立て



高品質

自動化

2極生産

ターボチャージャー の部品

ターボチャージャー
部品の組立てで顧客
企業の現地調達ニ
ーズに対応



VG*ターボ
チャージャー
部品

※「可変容量」のこと。
エンジンの回転数に
応じてノズルを開閉
できる。

フィルタ事業

過酷な条件でも使える
金属フィルターを
様々な産業に提供

ステンレスの金網を重ねて焼結し、様々な形に加工



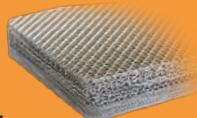
高強度

耐熱

耐酸性

産業用フィルター

積層焼結フィルター
の生産と顧客メーカー
の用途に応じた形状
に加工



洗浄・再生サービス

フィルターの洗浄・
再生サービスの提供

社会への価値提供

エンジン関連部品



エアコン用部品



トランスミッション
部品



駆動関連部品



VGターボ
チャージャー部品



この部分を
組立て



VGターボチャージャー

自動車部品の生産

自動車や
各種産業の
効率化・高品質化
を通じて
社会と暮らしに
貢献

ポリマー
ろ過フィルター



液体ろ過
フィルター



オイル
ろ過フィルター



ガスろ過
フィルター



化学産業



食品産業

様々な産業分野に貢献



海運業



航空宇宙産業

“上半期として過去最高の売上高を達成。 中期経営戦略を通じさらなる成長を目指します。”

はじめに

**自然災害により、被災された皆さまに
謹んでお見舞い申し上げます。**

2019年3月期の上半期(2018年4月1日~2018年9月30日、以下上半期)には、日本国内で地震や豪雨、台風による自然災害が多発し、各地に大きな被害をもたらしました。被災された皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。

幸いにしてこれらの自然災害が、当社グループの事業に対して大きな影響を及ぼすことはなく、当社は安定して事業を継続できました。世界の自動車市場が安定的に推移するなど、市場環境も追い風要因が多かったために全事業において増収増益となり、上半期としては過去最高の連結売上高を計上しました。

今後の経営環境については、米中貿易摩擦の影響など世界経済が不確実さを増していることや、世界自動車市場の成長に鈍化傾向が見られるなどの不確定要素はありますが、今期から開始した中期経営戦略の施策を鋭意進め、さらなる成長の基盤を確立していきます。

代表取締役社長執行役員
古屋 元伸

上半期の経営環境と当期業績

**世界の自動車生産台数が安定して推移。
過去最高の上半期売上高を達成しました。**

当社グループの主要顧客業界である日系自動車産業は、国内販売が前年並みで推移し、海外でも成長率は低下しているものの米国、中国市場が高水準を維持しました。さらに、ASEAN市場やインド市場が増加傾向を続け、世界の自動車生産台数は安定的に推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループでは3事業すべての売上高が前年上半期に比べて増加し、上半期過去最高の連結売上高を計上することができました。利益面では、ネットシェイプ事業が好調に推移したことにより、大幅な増益となりました。

以上の結果、連結売上高は84億円(前年同期比13.9%増)、営業利益6億5千2百万円(同100.0%増)、経常利益6億6千6百万円(同96.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億4千万円(同103.4%増)となりました。

この上半期の業績は、利益面で当初計画を大幅に上回るものであったことから、2018年10月17日に上方修正の発表をしております。

第2四半期累計の業績

(百万円)

	2018.3		2019.3		伸び率
	上半期実績	上半期計画	上半期実績		
売上高	7,378	7,880	8,400	13.9%	
営業利益	326	440	652	100.0%	
経常利益	338	430	666	96.6%	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	216	280	440	103.4%	

※ 百万円未満は切り捨て

通期の事業環境と見通し

**先行きに不透明な要素はありますが、
過去最高の売上高を見込みます。**

下半期については、第2四半期より明確になってきた中国自動車市場の減速傾向が続くと見られるほか、世界自動車市場全般についても成長率の鈍化傾向が見られます。また、国際政治の動きにより世界経済が影響を受けつつあるなど、当社グループを取り巻く経営環境は、先行きの不透明感が高まっています。

上半期の業績に加えてこうした経済情勢の変化を考慮し、通期の業績予想についても2018年10月17日に修正しており、連結売上高については過去最高の162億2千万円(前年同期比6.4%増)を予想しております。また、利益面においては、営業利益11億7千3百万円(同55.3%増)、経常利益11億8千7百万円(同52.5%増)、親会社に帰属する当期純利益7億9千万円(同51.2%増)に修正しております。(事業別概況についてはP.6をご参照ください。)

通期計画

(百万円)

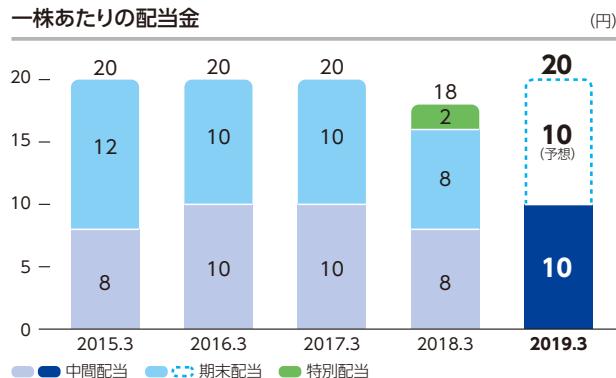
	2018.3		2019.3		伸び率
	通期実績	当初計画 (18年5月発表)	通期予想 (18年10月発表)		
売上高	15,248	15,700	16,220	6.4%	
営業利益	755	960	1,173	55.3%	
経常利益	778	950	1,187	52.5%	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	522	630	790	51.2%	

※ 百万円未満は切り捨て

配当

中間配当は10円、期末配当についても10円を見込んでいます。

上半期の当社グループの業績は、過去最高の売上高を記録するなど堅調に推移し、利益面でも期初計画を大幅に超える結果となりました。中間配当につきましては、期初予想どおり1株あたり10円とさせていただきました。期末配当につきましても、過去最高の160億円台の連結売上高を照準に捉えるなど増収増益が見込めることから、期初予想どおり1株あたり10円を予定しております。これにより、年間配当額は前年から2円増配の20円を予定しております。



その開発活動の活性化に伴い、自動車業界内での合従連衡などの動きも活発になるなど、将来を見据えた動きが新たなうねりとなりつつあります。一方で地域により、ガソリンエンジン車やディーゼルエンジン車への需要も当面は堅調を維持すると予測しています。

世界経済の先行きも含めて、当社を取り巻く経営環境は流動的ではありますが、当社グループは既存需要を確実に取り込むとともに、今後の環境変化に対応すべく新たな活動を推進してまいります。今期開始した、新中期経営戦略については、まだ緒に就いたばかりですが、次のステージに向けた施策を着実に進めています。以前より進めてきたグローバル戦略や技術開発戦略に加えて、その基盤となる人材関連の施策も推進する内容となっており、次世代の基盤づくりへと着実につなげてまいります。

株主の皆さまには、ニチダイグループの取り組みについて、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

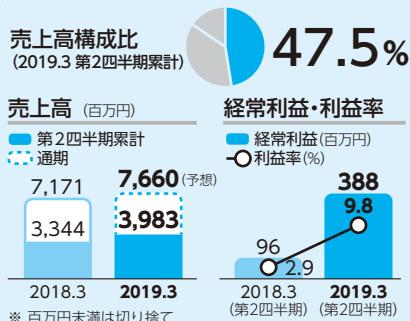
今後の戦略

環境の変化に対応し、新中期経営戦略を通じて次世代の基盤をつくります。

当社グループの主要顧客業界である自動車産業の今後の展開について、まず注目すべきは電動化への流れです。



ネットシェイプ事業



上半期の概況

金型部門では、国内の主力ユーザーからの需要が堅調に推移しました。精密鍛造品部門では、国内外拠点におけるスクロール鍛造品の増加により、前年を大きく上回る売上高となりました。その結果、売上高は39億8千3百万円(前年同期比19.1%増)となりました。また、経常利益は、増収効果により3億8千8百万円(同303.8%増)となりました。

通期の見通し

下半期も金型部門では、国内の主力ユーザーが引き続き堅調を維持すると見込んでおり、精密鍛造部門でも、引き続き利益に貢献できるよう取り組みを強化してまいります。こうした状況を踏まえて、通期の売上高は、76億6千万円(前年同期比6.8%増)の売上高を見込んでおります。

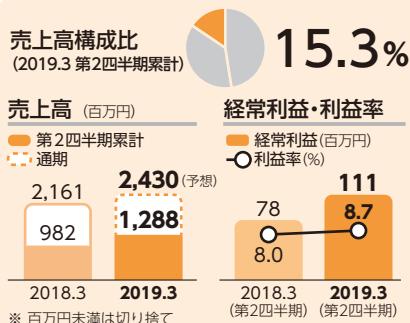
アセンブリ事業



VGターボチャージャー部品に関しては新機種の生産開始により、機種構成の入れ替えはあるものの、前年と同水準の売上高で推移しました。その結果、売上高31億2千7百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益1億6千5百万円(同1.0%増)となりました。

当社は、技術力を活かして付加価値の高いVGターボチャージャー部品の開発に力を入れております。下半期は、今期から生産を開始したVGターボチャージャー部品の新機種が売上に貢献するため、通期の売上高は、61億3千万円(前年同期比3.6%増)を見込んでおります。

フィルタ事業



第1四半期に電力産業向けの特需があったことに加えて、国内外でヘルスケア製品向けが好調だったことなどにより、売上高が増加いたしました。その結果、売上高12億8千8百万円(前年同期比31.2%増)、経常利益は1億1千1百万円(同42.4%増)となりました。

下半期に関しては、船舶用大型海水ストレーナーなどの売上増が見込めます。その結果、トータルでは上半期と同水準で推移すると予想しており、売上高は24億3千万円(前年同期比12.4%増)を見込んでおります。

独自の特長を持つ3つの事業で、顧客のものづくりに貢献しています。

ニチダイグループでは長年培ってきたオンリーワン技術を基盤に、独自の特長を持つ3つの事業を展開しています。ネットシェイプ事業とアッセンブリ事業の主要な顧客業界は自動車産業ですが、フィルタ事業は様々な産業に製品を供給しています。

また、ネットシェイプ事業のコア技術である、精密鍛造技術をアッセンブリ事業に活用する動きも出てきており、事業間の相乗効果を高める施策も進展しています。さらに、全事業とも、タイに生産拠点を持っており、グローバルにおける事業間での連携も可能な体制になっています。

こうした事業活動により、ニチダイグループは様々な産業に貢献しています。

ネットシェイプ事業

トータルエンジニアリング[®]でお客様の課題を解決

精密鍛造金型の生産のみならず、設計、開発、営業そして精密鍛造品の生産までを含んだ、トータルエンジニアリングサービスの提供が可能です。このようなトータルサービスを提供する金型メーカーは少ないため、当社の大きな強みになっています。例えば、自動車部品メーカーの新製品開発

をサポートし、自動車部品生産のスムーズな立ち上げに貢献しています。

また、日本国内各地にある6か所の営業所に加え、海外にも販売子会社を持っており、日系メーカーはもとより、海外ユーザーにも供給しています。

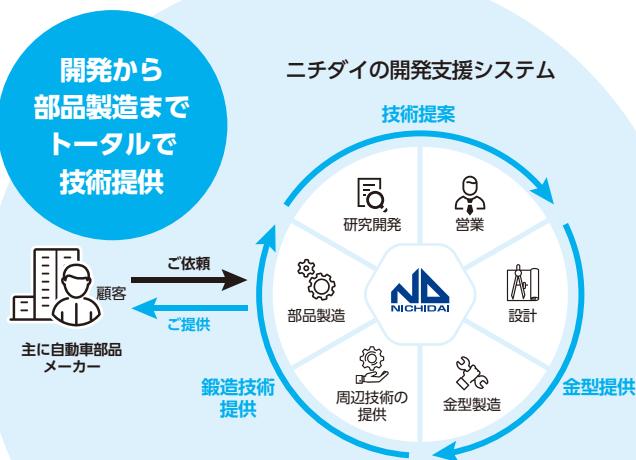
VOICE 責任者より

ニチダイの強みは「人・もの・歴史」が生み出す総合力。豊富な知識と情熱を持つ人材、ニッチトップの技術が造りだす製品、蓄積されたノウハウと信頼で、お客様のニーズに応えます。われわれの役目は、ニチダイとお客様をつなぎ、課題解決をコーディネートすること。お客様もニチダイも喜ぶ結果を得るために日々努力しています。



京都営業所
所長

黒田 賢一



アッセンブリ事業

IoT・自動化ライン導入で、品質向上と効率化を両立

国内外の拠点でターボチャージャー部品の組立てを行う量産系事業です。大量生産で重視される生産性を向上させるため、自動化ラインを導入しました。さらに、ラインの設備をインターネットに接続し、稼働状況をリアルタイムで確認できるIoTを導入しました。この仕組みを在庫管理や品質管理に利用することで、時間や原料のロスを減らし、QDC^{*1}のさらなる改善に役立てています。

※1 Quality(品質)・Delivery(納期)・Cost(コスト)のことで、当社ではビジョンに基づき「QDC」の表記としております。

労働生産性^{*2}の向上

※2 労働生産性=1時間あたりの生産台数



自動化ライン
導入で
生産性向上

VOICE 責任者より

IoT・自動化ライン導入によって生産性が向上し、お客様からの信頼も向上しました。同時に、人とIoTの役割を最適化することが急務になっています。現在私が取り組んでいるのは、AIを使った品質管理及び予知保全システムの構築、生産ラインと基幹システムの連動です。新しい技術を積極的に活用し、さらなる高品質化・効率化を目指していきます。



アッセンブリ事業部
次長
本庄 一樹

フィルタ事業

3Nの視点で フィルターの可能性を広げる

高い技術と応用力という強みを活かし、当社が3つのN (New)と表している、「新市場、新製品、新用途」の開拓を進めています。積層焼結技術を基盤に多くの産業にフィルター製品を提供しており、ロケットの燃料系フィルターにも使用されています。

最近では、船舶用大型海水ストレーナーや燃料電池車用のフィルターなどにも用途が広がり、大量生産の品種も増加しています。

VOICE 責任者より

フィルタ事業は、常に新しいことに挑戦しています。「3N」の言葉どおり、顧客ニーズに応じた新製品を開発し、素材の機能を活かした新用途を探し、新規のお客様からは新たなアイデアを得ています。私は、負荷の大きい製造工程の見直しや新設備導入のための評価、新製品の開発などを担当し、「3N」のさらなる開拓を目指しています。



製造部
生産技術開発課 課長
久保田 健

ニーズに応える
製品開発で
新たな産業に
進出

新規顧客数累計



新たな価値を創造し、 社会に貢献する企業であり続けるために。

当社は、自動車業界の大きな変化に対応するため、今期より「3つの挑戦」を核とする中期経営戦略を開始しました。全社を挙げて取り組みを進め、経営理念の実現を目指します。

中期経営戦略

3つの挑戦を通じて3Eカンパニーを目指し、3Sを実現します。

1
挑戦

既存事業強靱化への挑戦

- 他社の追随を許さない技術力の構築
- さらなるQDCの改善

2
挑戦

次世代への挑戦

- 海外事業のさらなる進化
- 新規事業の立ち上げ

Close UP!
次ページ
参照→

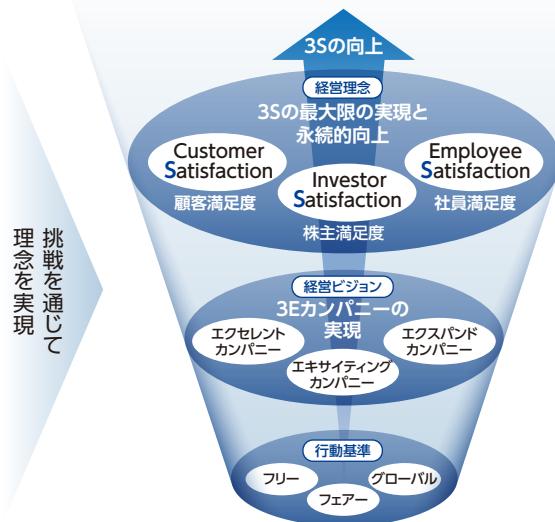
3
挑戦

働きがいのある職場への挑戦

- 自己実現を果たせる環境
- 働きやすさの充実

経営理念

新たな価値を創造し、社会に貢献します。



変化に対応するため中期経営戦略を策定

ニチダイグループを取り巻く自動車業界の変化

第1の変化

自動車電動化への動きの加速による、
内燃機関関連部品の需要減少

第2の変化

脱ディーゼルエンジンの潮流による、
市場ニーズの変化

第3の変化

国内の生産年齢人口減少による、
人材確保の困難化と生産性向上の必要性

Close
UP!

中期経営戦略
の実行

2
挑戦

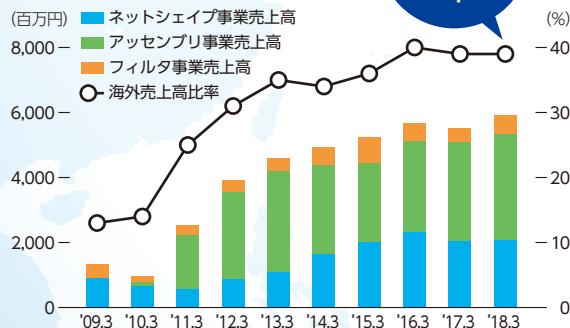
次世代への挑戦 —— 海外事業のさらなる進化

海外向け事業の成長と 東南アジア市場でのさらなる飛躍。

10年で海外売上高比率は約3倍に増加

ニチダイグループではこれまで、重点課題として海外売上高の増加に取り組んできました。その結果、2009年3月期に13%だった連結海外売上高比率が、直近では39%まで増加しています。これは3事業すべての生産拠点が立地するタイをはじめ、アジア地域における売上増によるものです。新・中期経営戦略においても「海外事業のさらなる進化」をテーマとして掲げ、重点施策である「海外比率拡大」と「さらなる海外拠点の強化」による着実な飛躍につなげます。

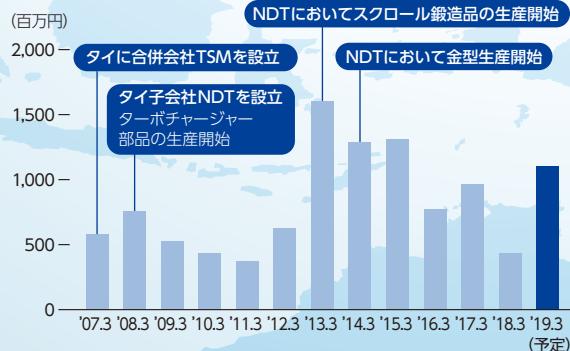
海外売上高と海外売上高比率



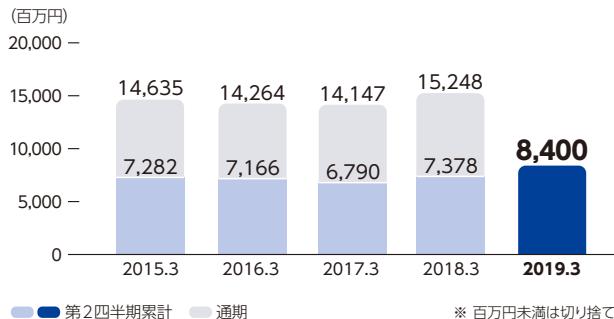
今後の計画 | 東南アジア市場でのビジネスを加速

ニチダイグループは、2007年にフィルタ事業の拠点THAI SINTERED MESH CO., LTD. (TSM)、翌年にNICHIDAI (THAILAND) LTD. (以下NDT)を相次いで設立しました。NDTは、ターボチャージャー部品の組立てに始まり、スクロール鍛造品や精密鍛造金型の生産も行うなど、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の戦略拠点となっています。当社は両拠点を核として、全事業の東南アジア市場での展開を加速します。

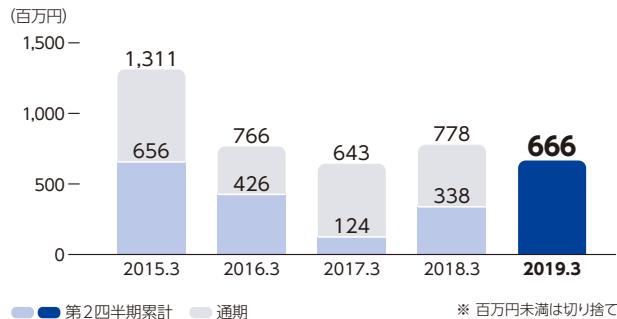
設備投資の状況



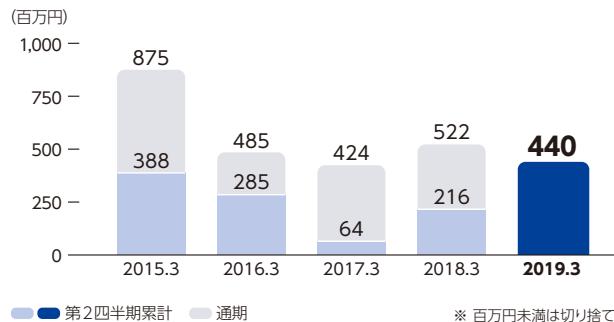
売上高(第2四半期累計)



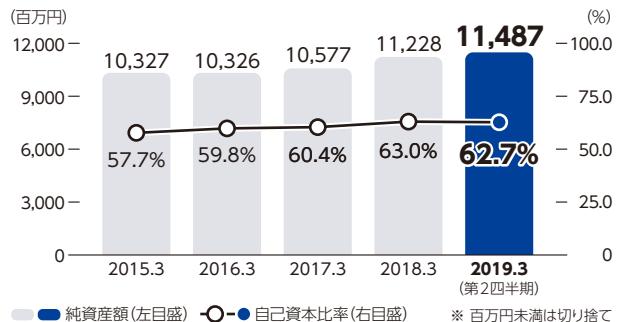
経常利益(第2四半期累計)



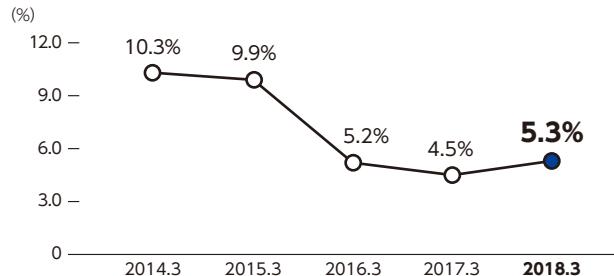
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(第2四半期累計)



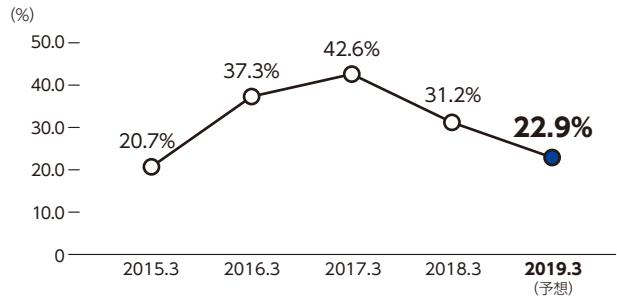
純資産額/自己資本比率



ROE(自己資本利益率)



配当性向(連結)

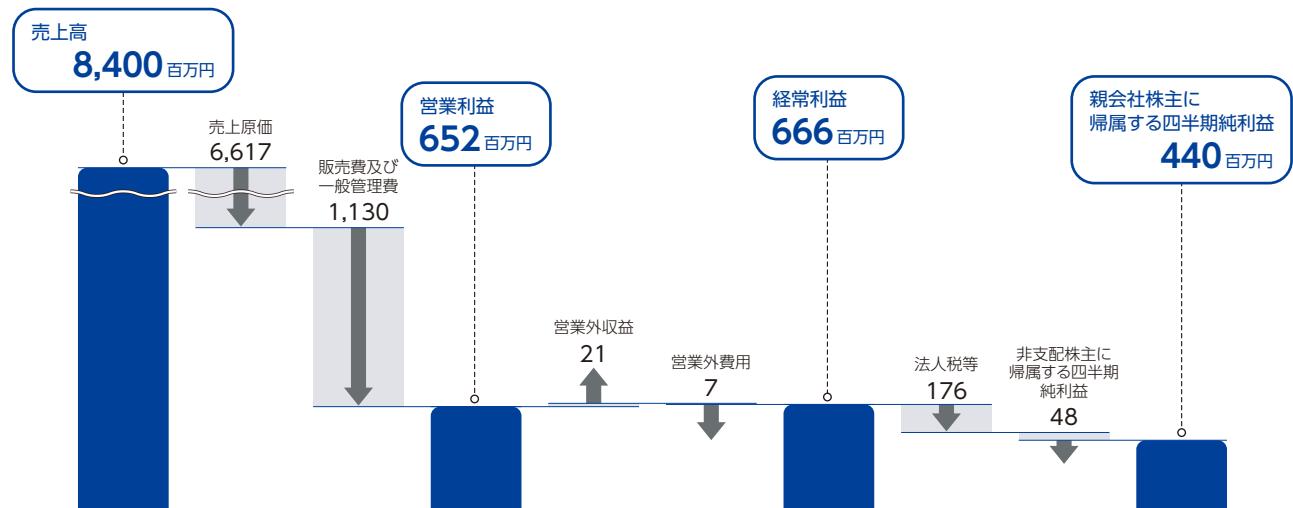


【見直しに関する注意事項】 当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

連結損益計算書

(百万円)

当 第2四半期(累計) (2018年4月1日～2018年9月30日)



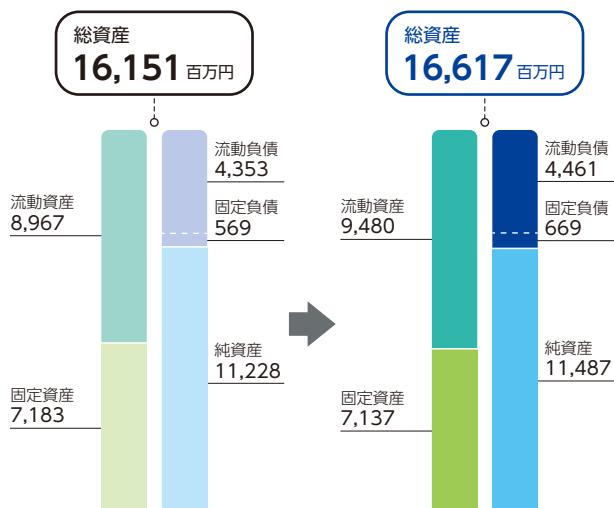
※ 百万円未満は切り捨て

連結貸借対照表

(百万円)

前期末 (2018年3月31日)

当 第2四半期末 (2018年9月30日)

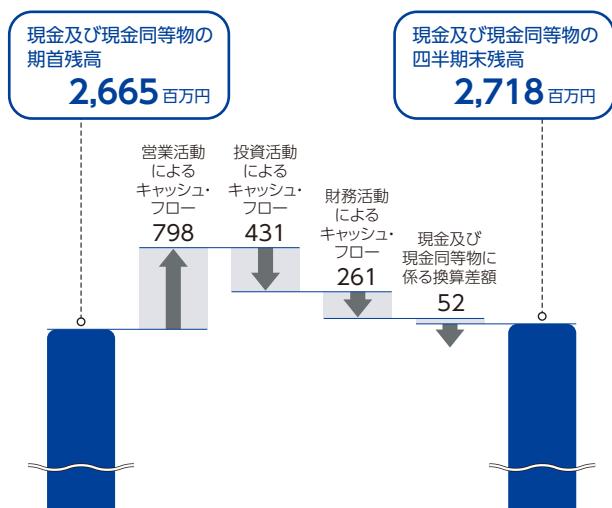


※ 百万円未満は切り捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

当 第2四半期(累計) (2018年4月1日～2018年9月30日)



※ 百万円未満は切り捨て

国内の主要な事業所

(2018年9月30日現在)

本社

京都府京田辺市新北町田13

京田辺工場

京都府京田辺市新北町田13

宇治田原工場

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

熊谷営業所

埼玉県熊谷市桜木町2-88

浜松営業所

浜松市中区高丘西3-12-3 1階

名古屋営業所

名古屋市名東区高社2-127 1F

京都営業所

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

岡山営業所

岡山市北区辰巳22-103 TCKビル

熊本営業所

熊本市東区長嶺南1-1-7



本社



京田辺工場



宇治田原工場

関連会社

(2018年9月30日現在)

① ニチダイフィルタ株式会社

京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺塩谷14

② NICHIDAI (THAILAND) LTD.

700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakra Ap. Phanthong Chonburi
20160 Thailand

③ THAI SINTERED MESH CO., LTD.

Saha Group Industrial Park, 99/8 Moo 5, Tambol Pasak,
Amphur Muang Lamphun 51000 Thailand

④ NICHIDAI U.S.A. CORPORATION

15630 E State Route 12 Unit 4, Findlay,
OH, 45840-9743, USA

⑤ NICHIDAI ASIA CO., LTD.

700/882 Moo 5, Tb. Nhongkakra Ap. Phanthong Chonburi
20160 Thailand

● ネットシェイプ事業 ● アッセンブリ事業 ● フィルタ事業



会社概要

(2018年9月30日現在)

社名 (英文表記)	株式会社ニチダイ NICHIDAI CORPORATION
証券コード	6467
本社所在地	京都府京田辺市薪北町田13
創業年月日	1959年5月5日
設立年月日	1967年5月1日
資本金	14億2,992万円
従業員数	376名(単独) 679名(連結)

役員

(2018年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	古屋 元伸	
取締役執行役員	瀬川 秀実	ネットシェイプ事業統括本部長 NICHIDAI ASIA CO., LTD. 社長 NICHIDAI U.S.A. CORPORATION 社長
取締役執行役員	辻 寛和	管理統括本部長
取締役	岡 廣次郎	監査等委員(常勤)
社外取締役	西野 吉隆	監査等委員
社外取締役	真田 尚美	監査等委員

当社ホームページのご紹介

ニチダイへの理解を深めていただくために、ホームページをご活用ください。



<http://www.nichidai.jp/>

株式の状況

(2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	15,500,000株
発行済株式の総数	9,053,300株
単元株式数	100株
株主数	5,786名

大株主

(2018年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
有限会社ジャスト	885,600	9.78%
田中克尚	492,188	5.43%
ニチダイ従業員持株会	366,944	4.05%
中棹知子	282,600	3.12%
古屋啓子	272,600	3.01%
京都中央信用金庫	220,000	2.43%
株式会社三菱UFJ銀行	217,600	2.40%
楽天証券株式会社	185,300	2.04%
大阪中小企業投資育成株式会社	154,000	1.70%
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	140,600	1.55%

所有者別分布

(2018年9月30日現在)



所有者別株式数分布

(2018年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	T541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告方法	電子公告 当社ホームページ(http://www.nichidai.jp/) にて掲載
単元株式数	100株

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまのご満足を追求し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいります。この株主通信に対するご感想、ご意見をお寄せください。つきましては同封のアンケートハガキにご記入、ご投函いただけますようお願いいたします。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

株主さま向けアンケート結果のお知らせ

2018年6月に発行した株主通信(Vol.33)で実施したアンケートに対して、多くの株主さまからご回答、ご意見をいただきました。心から御礼申し上げます。お寄せいただきました貴重なご回答、ご意見は今後の事業活動、IR活動の参考にさせていただきます。

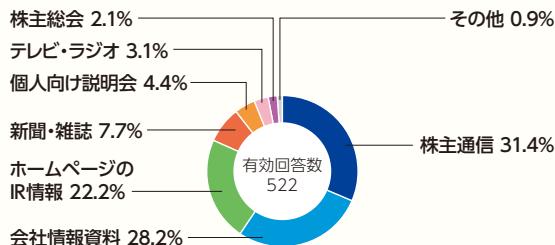
下記に、アンケート結果のうち、いくつかをご紹介します。

当社についてもっと知りたい情報



前回に続き、株主通信を通じて知りたい情報のトップは「製品情報」でした。自動車業界の変化などにより「経営方針」に対する関心も高まっています。

当社の充実すべきIR活動



充実すべきIR活動のトップは「株主通信」、次いで「会社情報資料」でした。また、「ホームページのIR情報」の充実を求めるご意見も増えています。

その他のご意見

- 社員の方の顔が見える株主通信は親しみやすく良かった。
- 情報発信がわかりやすく掲載されているので、会社のやる気が見える株主通信だと感じた。
- ニチダイの製品や事業内容等について、より詳しく説明してほしい。



株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

本社 TEL.(0774) 62-3481 (代)